

「国産農産物安定供給効果」について」等の一部改正について

1 背景

国産農産物安定供給効果は、関連事業を含めた土地改良事業の実施により、農用地や水利条件の改良等がなされることに伴って、その受益地域において維持・向上するとみなされる国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果である。

本効果は、市場で扱われていない価値であるため、一般国民にアンケートにより支払意志額（WTP）を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM（仮想市場法）により推計した単位当たり効果額（原単位）を用いて効果額を算定しているが、前回のアンケート実施から10年弱が経過していることから、WTPが変動している可能性がある。

また、「食料・農業・農村基本計画」（令和2年3月31日閣議決定）において、供給熱量ベースと生産額ベースの食料自給率がいずれも重要な指標とされているものの、本効果では国産農産物の生産額のみ評価し、供給熱量は評価できていない。

今般、複数の学識経験者の意見を踏まえ、新たにアンケートを実施し、国産農産物の生産額に対するWTP、国産農産物の供給熱量に対するWTP等を総合化してそれぞれの原単位を推定する算定手法が確立された。

このため、本効果の一層の適正化を図る観点から、「国産農産物安定供給効果」について」（平成27年3月27日付け26農振第2072号農林水産省農村振興局整備部長通知）等を改正する。

2 改正の概要

（1）算定式の変更 ※下線部を新たに追加

$$\text{年効果額} = \text{年増加粗収益額} \times \text{単位食料生産額当たり効果額（原単位）} \\ + \underline{\text{年増加供給熱量} \times \text{単位供給熱量当たり効果額（原単位）}}$$

（2）単位当たり効果額（原単位）の更新・追加

① 単位食料生産額当たり効果額（原単位） ※下線部に更新

$$= \text{WTP 全体のうち国産農産物の生産額に対する WTP} \div \text{国産食料農産物産出額} \\ = \underline{49 \text{ 円/千円}} \text{（現行：97 円/千円）}$$

② 単位供給熱量当たり効果額（原単位） ※新たに追加

$$= \text{WTP 全体のうち国産農産物の供給熱量に対する WTP} \div \text{国産食料農産物供給熱量} \\ = 9.9 \text{ 円/千 kcal}$$

（3）その他

- ① 年増加供給熱量の算定に必要となる、作物別重量当たり供給熱量（「令和3年度食料需給表（概算値）」（農林水産省）等に基づき整理）の追加
- ② 「土地改良事業の感度分析について」（平成31年4月1日付け30農振第3976号農林水産省農村振興局整備部長通知）における本効果に係る算定様式の変更
- ③ その他軽微な修正（上記変更に伴う算定様式の変更・追加等）

3 その他

令和5年4月3日施行